

第8課「賛美の雰囲気」

日曜日/天地創造

- ・ p54 に「神は被造物の為に大いなる総合計画を持っておられた」とある。アメリカ宇宙飛行士エドガー・ミッチェルが地球を離れて宇宙を見たときの言葉を紹介する『宇宙には目的があることを肌で感じた。この宇宙には、行き当たりばったりで秩序も目的もない分子集団の運動だけでは説明のつかない何かがあるように思われる。地球を眺めた時、宇宙には知性と愛情と調和があることを私は身をもって知ったのである』
- ・ 創造の第二日目は「神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた」とある。以前の科学者はこれを馬鹿にしていた。「そんな水を分けたら上の水が落ちてくる」と。しかし気象学の発達により第一線の科学者は、地球の歴史のかなり早い時期に地球全体を覆う厚い雲があった事を認めている。また地球が熱くなったとき地球上にあった水が蒸発し厚い雲になって地球全体を覆った。この時太陽の光は厚い雲によって直接ささないで温室のようになり、植物などが多く発生したことをも認めている。

月曜日/空気の必要性

- ・ 私の空気にまつわる思い出：幼稚園児の時、隣の家には当時まだ珍しい掘りごたつがあった。練炭で暖めているものだが、私はそこに潜り込んで遊んでいて一酸化炭素中毒で倒れた。病院に運ばれた。危うく命を失うところだった。母は私を乗せた救急車を裸足で走って追いかけてきてくれたという。以来誰もが「節制」vs「中毒」の闘いを続ける

火曜日/頭上の空気

- ・ このページを読むと深い深呼吸をしたくなる。ちなみにあの岡田以蔵（人斬り以蔵）は次のように言ったという「なんか龍馬さんに会って・・・深呼吸をしたみたい気分になる」と。（全くSS教課に関係ないが・・・スイマセン）

水曜日/悪い空気、よい空気

- ・ 深呼吸の効用・・・血液を浄化する/神経を和らげる/食欲を増す、消化をよくする/深い気持ちのよい眠りが与えられる/肝臓・脳・心臓などの機能が增大する/風邪から守られる/気管支系の病気から守られる

木曜日/天国の雰囲気

- ・ 天の御国に行くまではこの世に満ちる空気を吸っていくことは免れない。外に出れば吸いたくない排気ガス、タバコの煙も吸い込んでしまう。同じく汚れ腐敗した雰囲気、神の霊とは反した場面の雰囲気に囲まれることも多い。でも私たちは「特別の換気扇」が与えられている。それはどんな煙が周りに充満しても、天の清い空気を吸っていきける「特別の換気扇」である。それは祈りである。p59の『キリストへの道』の言葉「たとえば私たちは、汚れた腐敗した空気に包まれていても、その毒気を吸う必要はなく、天の清い空気の中に生きることができます。真剣に祈って心を神の前に高め、不潔、不正な思いが入らぬようにあらゆる戸を閉じることができます」とある。いい言葉である。